



復興水産加工業販路回復促進センターによる 「東北復興水産加工品展示商談会 2016」の開催について

- 1 被災地の水産加工品の販路の回復・開拓に向け、本年6月7日（火）～8日（水）に仙台で「東北復興水産加工品展示商談会 2016」が開催されることとなりました。
- 2 本商談会は、「復興水産加工業等販路回復促進センター」が主催するもので、「復興水産加工業等販路回復促進事業」により、本商談会の支援をしております。
- 3 復興水産加工業販路回復促進センターによるプレスリリース（別添1）も、あわせて御参照ください。なお、詳細については、同センター（別添1に連絡先記載）にお問い合わせください。

※概要

開催日： 平成28年6月7日（火）・8日（水）

〔 7日：10時30分～17時00分（予定）
8日：10時00分～15時00分（予定） 〕

場所： 宮城県仙台市（仙台国際センター）

主催： 復興水産加工業販路回復促進センター

【構成団体】

東北六県商工会議所連合会、（一社）大日本水産会、
全国水産加工業協同組合連合会、（公社）日本水産資源保護協会

後援： 復興庁、水産庁等（予定）

その他： 昨年好評であった「東北復興水産加工品展示商談会 2015」（別添2参照）に引き続いての開催となります。

参考： 東北復興水産加工品展示商談会 2016 ホームページ
（<http://www.tohokusuisan.jp/>）

復興水産加工業販路回復センターホームページ

（<http://www.fukko-hanro.jp/seminor/s20160413.html>）

問い合わせ先

復興庁 農林水産担当（内線）

中村（1304）、坂根（1804）

電話（代表）：03-5545-7230

プレスリリース

平成 28 年 4 月 12 日

復興水産加工業販路回復促進センター

「東北復興水産加工品展示商談会 2016」の開催について

東日本大震災から 5 年が経過しましたが、甚大な被害を受けた東北地区の水産加工業者の多くは、生産体制は整ったものの、再開するまでの間に取引先を失ったり、風評被害により売り上げの回復が遅れている状況にあります。

復興水産加工業販路回復促進センターは、今年も東北の水産業界全体の早期復旧・復興を目指すことを目的に、販路開拓・情報発信の拡大を図りながら、仕事に繋がる・繋げる「展示・商談会」をテーマとし、昨年好評であった「東北復興水産加工品展示商談会 2015」に引き続き、よりグレードアップした形で「東北復興水産加工品展示商談会 2016」を開催する予定であることから、以下のとおりお知らせいたします。

「東北復興水産加工品展示商談会 2016」について

日時：平成 27 年 6 月 7 日（火）、8 日（水）（2 日間）

場所：仙台国際センター展示棟（宮城県仙台市）

概要等については、【別紙】をご覧ください。詳細が決まり次第 5 月上旬頃追ってお知らせいたします。

<添付資料>

【別紙】「東北復興水産加工品展示商談会 2016」について

(連絡先)

復興水産加工業販路回復促進センター

全国水産加工業協同組合連合会（代表機関）

担当者：佐々木、大藤

連絡先：03-3662-2040

（公社）日本水産資源保護協会

担当者：遠藤、三森

連絡先：03-6680-4277

（一社）大日本水産会

担当者：平井、飯嶋

連絡先：03-3585-6985

東北六県商工会議所連合会

担当者：佐藤（仙台商工会議所）

吉田（八戸商工会議所）

連絡先：022-265-8129

0178-43-5111

東北復興水産加工品展示商談会 2016開催概要

【背景・実施目的】

東日本大震災から5年が経過し、東北地区水産業界全体として、震災からの復旧・復興の気運を高める。

東北水産業の連携体として、販路開拓・情報発信の拡大を図り、東北の水産業界の早期復旧・復興を目的として展示・商談会を開催する。

【キーワード】

- ① 東北地方水産業のビジネスニーズとチャンスの創出
- ② バイヤーの引き合いチャネルを拡充
- ③ 出展者間の交流と連携の促進



【テーマ】

繋がる・繋げる「展示・商談会」

【名称】 東北復興水産加工品展示商談会2016

【主催】 復興水産加工業販路回復促進センター

【構成団体】 東北六県商工会議所連合会（事務局 仙台商工会議所）／（一社）大日本水産会
全国水産加工業協同組合連合会／（公社）日本水産資源保護協会

【日時】 2016年6月7日（火）～6月8日（水） 2日間
※7日：10:30～17:00（予定） ※8日：10:00～15:00（予定）

【会場】 仙台国際センター展示棟（宮城県仙台市青葉区青葉山無番地）

【出展者】 青森・岩手・宮城・福島・茨城県内沿岸部 水産加工事業者 約120業者

【入場料】 無料

【後援】 水産庁、復興庁ほか （予定）

東北復興水産加工品展示商談会 2016企画案内

【1】展示商談会

展示ブースを設置し、専門家指導の実践の場として、来場バイヤーに対し商品のPR・商談を行う。



【2】個別商談会

国内外の有力バイヤーを招聘し、具体的提案及び指導を受け、顧客ニーズに対応した新商品開発や企画提案を行うビジネスマッチング型の個別商談会を行う。

- ① 国内バイヤーとの個別商談
- ② 海外バイヤーとの個別商談
- ③ バイヤーからの提案ニーズに対応した個別商談



東北復興水産加工品展示商談会 2016企画案内

【3】 出展企業からのプレゼンPR

テーマを3つ（量販店・外食・ギフト等）設定し、出展者が各バイヤーに向け商品や企画のプレゼン・PRを行う。

【4】 セミナー・パネルディスカッション

販路回復の課題解決、顧客提案に対応する商品力の強化、業界トレンドの情報収集等をテーマに、流通バイヤーや業界専門家等を講師に招きセミナーやパネルディスカッションを開催する。



【5】 地域のパネル展示

出展地域の各漁港施設や水産物のブランド化などの取り組みをパネル展示する。

東北復興水産加工品展示商談会 2016企画案内

【6】 関係機関協賛ブース

被災地域の水産加工業復興支援に取り組む関係機関の展示ブースを設ける。

【7】 各種相談ブース

復興水産販路回復アドバイザー等による相談コーナーを設け、新商品開発、販路回復、新規開拓に関する指導、助言を行う。



【8】 事前指導セミナー

展示商談会に向け、復興アドバイザー等を講師に自社商品の効果的なPR、商談力アップのポイントに関するセミナーを開催する。

【9】 フォローアップセミナー&指導相談会

展示商談会終了後、商談成約率を高めるためフォローアップセミナー及び指導相談会を開催する。

東北復興水産加工品展示商談会2015 開催概要

- ・ 販路開拓の場を設けるために、被災地域が一体となった水産加工品の展示商談会を開催。
- ・ 活発な商談が行われ、多数の商談が成立。

1. 開催日

平成27年 6月16日（火） 10:00～17:00
平成27年 6月17日（水） 10:00～15:00

2. 場 所

仙台国際センター（仙台市青葉区青葉山無番地）

3. 主 催

復興水産加工業販路回復促進センター

【構成員】

（東北六県商工会議所連合会、（一社）大日本水産会
全国水産加工業協同組合連合会、（公社）日本水産資源保護協会）

4. 出展者

青森県・岩手県・宮城県・福島県・茨城県の沿岸部の
水産加工業者96社

5. 来場者

4,200人（二日間の延べ数）

6. 結 果

(1) 展示商談会

- ・ 展示ブースを96ブース設置し、来場者への商品のPR・商談を実施。
- ・ 商談結果：成約数 200件

（ 新規取引先との成約 118件
既存取引先とのアイテム増加 82件 ）

(2) 個別商談会

- ・ 国内外の有力バイヤーを招聘し、個別商談会を実施。
- ・ 商談結果：国内バイヤー50社との商談 477件のうち、86件（18.0%）が成立。

7. 参加者の声

- ・ 集客数が多い分、商談も多かった。
- ・ 既存顧客に新規品の案内ができ、また、新規顧客に挨拶ができ、窓口を広くできた。
- ・ 東北6県のバイヤー、食品メーカー、外食産業、百貨店等と交流を持てたことが良かった。
- ・ 販路拡大の目的が達成できた。
- ・ いろんな意見を頂いて参考になったのと、今後の商品づくり、現商品の改善点もわかり、参加して良かった。
- ・ 水産加工品に絞った展示会のため、来場者との商談がスムーズだった。



出展ブース



セミナー



個別商談会